



# 東京地本援護協会 平成30年「賀詞交歓会」



今年も、援護協会恒例の「賀詞交歓会」が1月26日（金）グランドヒルズヶ谷「白樺の間」で、地本協力本部各位と多数の来賓を招いて行われました。出席者一同、より一層の援護協力に邁進する事を誓い、交歓を深めていました。



今年も「挺身の決意」を持って「援護」に尽力！

年末から日本列島を覆い尽くした寒気団は、年明け早々首都圏をも巻き込み、東京も降雪と46年振りと言われ録的寒波に晒されています。

年頭を飾る「賀詞交歓会」は、そんな寒さの続く中での開催と成りましたが、会員の意気はいたって軒昂。城南・城北・城東・城西4地区の役員以下会員一同が会し、盛大に執り行われました。また、東京地方協力本部

各位や関連団体を始め、多数の来賓の方々の参列を頂き、例年になく熱く盛り上がり、年頭に相応しい交歓会となりました。

「賀詞交歓会」は、北川事務局長が司会進行役を務め、橋本城北地区会長の開会の辞に始まり、先ずは当協会の重鎮、星野会長が壇上に上がり、年頭の挨拶と



◇写真上：中は年頭挨拶をする星野会長 右は、来賓を代表して祝辞を頂いた「東京地本協力本部」本部長・楠見 晋一様 左は、開会の辞に立つ城北地区・橋本会長  
◇写真左は、来賓の方々を紹介する伊奈会長（左）と、順に橋本・福岡・吉田の各地区会長尚、福岡会長から、地元・青梅名産の「梅の粕漬け」が振舞われ、なかなかの好評でした。

